

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月6日から開催される第4回七飯町議会定例会において、次のとおり
一般質問をする旨、各議員から通告がありましたので、通知いたします。

令和 4 年 1 2 月 6 日

七飯町長 杉 原 太 殿

七飯町議会議長 木 下 敏

目 次

質 問 者	質 問 事 項	ページ
1. 平 松 俊 一	七飯町内の公共施設暖房用ボイラーについて	1
	学校給食における給食費と食品の安全性について	2
	公共施設の有効利用推進について	3
	七飯町地域公共交通計画（案）の進捗状況について	4
	道の駅なないろ・ななえの指定管理制度を見直すことについて	5
2. 上 野 武 彦	ネイチャーセンターの運営の改善を	6
	福祉灯油について	7
	コロナ禍の対応について	8
3. 田 村 敏 郎	今後に向けた町民生活の対応策について	9
	町の除雪と排雪について	9
	道の駅の納付金について	10
4. 若 山 雅 行	来年度（令和5年度）の予算編成等について	11
	「町民の声を生かして創るまちづくり」について	12
	新型コロナワクチン接種事業について	14
	「道の駅エリア」の借地について	15
	「令和4年度七飯町教育行政方針」について	16
5. 江 口 勝 幸	七飯町町有バスあかまつについて	17

通告順位 及び質問者	要 旨	
1. 平松俊一	1	<p>七飯町内の公共施設暖房用ボイラーについて</p> <p>ロシアによるウクライナ侵攻は世界中の日常を一変させ、いまだに収束の道筋が見えて来ないまま冬を迎える事となった。暖房用の燃料費や冬場の電気使用量への影響も予断を許さない状況である。</p> <p>私は以前より公共施設の暖房に関する質問を行なってきたが、その基としているのは町が平成23年に策定した「七飯町地域材利用推進方針」である。</p> <p>この指針は町内の森林を活用するためのものであり、ある程度実現できていれば、今回のような世界情勢にも、適確に対応できていたと思われる優れた指針と評価したいが、現状は殆ど機能していないのが残念でならない。</p> <p>今後の展開については期待したいところだが、当面の間、町は現在の燃料費高騰に向けた具体策の策定に追われる事と予想される。</p> <p>当町の多くの公共施設暖房用ボイラーは更新時期に近付いており、その現状を把握し、どこからどのような対策を施して行くのか、以下の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公共施設の「ボイラー」の現状を施設ごとに評価する事について 2. それらの「ボイラー」の修理・更新の履歴と今後の予定について 3. それらを木質系バイオマスボイラーへ転換する事について 4. 木質系バイオマスボイラーを採用する場合、町内の森林等からバイオマスボイラー用チップを生産することについて 5. 森林資源を見直す啓発活動として、或いは役場庁舎の補助暖房設備として、ロビーに暖炉を設置することについて 6. 町長は「七飯町地域材利用推進方針」をどのように位

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	2	<p>置付けているかについて</p> <p>学校給食における給食費と食品の安全性について</p> <p>町長は3月の町長選挙において子育て支援を強く訴え、他候補者を大きく引き離し選挙戦を勝ち抜き、施政方針でも子育て世代の支援を明記している。</p> <p>来年度は町長の考える子育て支援に関する具体策がどの様に表れてくるのか、今から大いに期待されているところである。</p> <p>しかしながら最近の物価高は、今までに経験のない速度で急激に進み、年金暮らしや子育て世帯への影響が特に大きく、一時的な支援金ではその効果が極めて限定的と言わざるを得ない状況である。</p> <p>また流通業界全体も同様に大きな影響を受けており、今まで心配のなかったところでも食材の調達に不安な要素が現れて来ている。</p> <p>そこで給食費と給食食品の安全性に的を絞って質問を行いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 給食費を一般会計で賄う考えについて 2. 給食食品の安全性をどの様に担保するのかについて

通告順位 及び質問者	要 旨	
	3	<p>公共施設の有効利用推進について</p> <p>現在、町内の公共施設は「基本的に」収益事業者への貸し出しを規制しているが、収益事業と断定する範囲・判断基準が曖昧で、公共施設を利用した民間事業者の起業機会を失わせている可能性がある。</p> <p>公共施設は地域住民の諸活動を推進し、福祉の増進に寄与すべきものであるが、施設利用料という町財源を増やして行く事も前提に、見直すことも必要と考える。</p> <p>自治体が税金を使って、利用者の福祉に寄与することは施設建設の本分でもあるが、維持経費の応分な負担を求めなければ財政負担ばかりが増えている現状でもあり、町はその必要性を色々な機会で表明しているところである。</p> <p>そこで次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 貸館が可能な公共施設の貸館利用状況について 2. 貸館が可能な公共施設のランニングコストと利用収益の対比について 3. 収益事業者を含めた施設利用の促進について

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p>4 七飯町地域公共交通計画（案）の進捗状況について</p> <p>七飯町地域公共交通活性化協議会（以下“協議会”と言う）において現在「七飯町地域公共交通計画（案）」を策定中である。</p> <p>町HP（くらし～道路・交通～地域公共交通～協議会）では本年10月25日に開催された第10回目の協議会議事録を見る事ができ、そこには70歳以上で運転免許を持たない方にタクシー利用券を配布することを「実証実験」の第一歩としている。</p> <p>これはあくまでも最初の取り組みであり、今後色々検討する中の一案と説明されているが、委員の中からは疑問を呈する意見も出ていた。</p> <p>計画中の段階で色々な意見や質問を本会議で行うことは協議会側へ気を使わせることになるかもしれないが、理事者側の答弁は今後の地域公共交通への姿勢を表しているので、この事に関し、次の点について伺いたい。</p> <p>1. 町が考えている「公共交通」の基本姿勢について 2. 現時点での実証実験に予定される予算額について</p>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	5	<p>道の駅なないろ・ななえの指定管理制度を見直すことについて</p> <p>道の駅なないろ・ななえは3年契約で施設管理を目的に令和4年度には22,199千円の「指定管理料」が支払われている。当初からこの方針で運営しているが、町民の方々から、なぜ、町に収益が入らないのかとの質問を受ける機会が多い。</p> <p>少なくとも、施設を利用して収益事業を行っているのであれば、料金収入があってしかるべきではないか。今後見直していく考えがないのか、町長の考えを伺いたい。</p>

通告順位 及び質問者	要 旨	
2. 上野武彦	1	<p>ネイチャーセンターの運営の改善を</p> <p>大沼公園駅から線路沿いの道を森町方向へ 100 メートルほど行った道を左折し線路を渡ったところに町が公園財団から引き継いだ建物にネイチャーセンターが開設されている。この間大沼、小沼、じゅん采沼がラムサール条約の湿地に認定されて 10 年になる。</p> <p>ネイチャーセンターは環境保全の活動や大沼自然環境の魅力を観光客に伝える活動など大沼観光に大きな役割を果たせるものとする。</p> <p>しかし、現状では多くの観光客はネイチャーセンターの存在すら知らされていない。</p> <p>そこで、以下の点について改善できないか伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネイチャーセンターの場所や活動を知らせるチラシやリーフなどを発行する考えはないか。 2. ネイチャーセンターへ誘導する標識を設置できないか。 3. 大沼国際交流プラザ、大沼国際セミナーハウス、道の駅なないろ・ななえなどにネイチャーセンターのチラシやラムサール条約のリーフなどを置く考えはないか。 4. 土、日、祝日などを休日にして観光客が利用できない状況を改善できないか。 5. ネイチャーセンターに観光客用の駐車スペースを設置できないか。

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	2	<p data-bbox="604 367 863 403">福祉灯油について</p> <p data-bbox="561 468 1390 703">今年物価が高騰し生活環境が厳しい中で冬を迎えようとしているが、灯油の価格も高騰し、平均価格で昨年より12円以上高値となり、11月17日現在では生協価格がリッター122円という状況となっている。そこで以下の点について改善する考えがないか伺いたい。</p> <ol data-bbox="576 770 1390 1155" style="list-style-type: none"> 1. 有資格者全員へ申請の案内と申込用紙を郵送する取り組みができないか。 2. 50%以上の自治体が10,000円以上の福祉灯油を支給している中で七飯町は5,000円だけであるが、10,000円に引き上げる考えはないか。 3. 役場に申請に行けない事情がある対象者には本人からの電話での申し込みに役場職員が自宅に訪問して受け付ける取り組みができないか。

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	3	<p>コロナ禍の対応について</p> <p>全国で新型コロナの新たな感染拡大が起きており、中でも北海道は11月15日に初めて感染者が1万人を超えるなど、感染拡大が全国を上回る状況となっている。そんな中町民の命と健康を守るためにも現在の検査体制の見直しと充実を図っていただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在、七飯町での有症状者及び濃厚接触者、その他の検査希望者への検査体制はどのようになっているか。 2. 夜間、休日の発病への対処について、住民への周知はどのようになっているか。

通告順位 及び質問者	要 旨	
3. 田村敏郎	1	<p>今後に向けた町民生活の対応策について</p> <p>新型コロナウイルス感染は第8波に入り、相俟ってインフルエンザの流行も危惧されている。</p> <p>電気、灯油、ガス等公共性の高いものが値上り、更に10月には6,700品目が値上がりし、消費者は月で5,700円、年間68,000円の負担増が見込まれると報道されているが、町は町民の生活に寄り添うための独自の施策を考えているか伺いたい。</p>
	2	<p>町の除雪と排雪について</p> <p>今年も冬がやってきたが、報道によると日本海の低気圧により北海道は今年も大雪とのことである。町内は年々高齢化が進み、この時期になると足腰等のケガが増加する傾向にあるという。特に住宅密集地では家の周りを除雪しようにも除雪でできた雪の山で、排雪をしなければ除雪ができない状況にある。そこで次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町の除雪は降雪何センチで実施するのか。 2. 排雪はどのような状況になったら実施するのか。 3. 高齢化と人口減が待たなしの状況で、町の除排雪についてどのような方策を立てているのか。

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨	
	3	<p>道の駅の納付金について</p> <p>令和3年度の決算特別委員会報告書中、町長は総括質疑の答弁で、「令和4年度の公募要領の規定を見直し、寄付金を納付金と修正し納付額を指定管理者に提案してもらい、選定の際の評価指標とすることといたしました。」とあるが下記について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和4年度の公募要領をどのように見直したのか。 2. 選定の際の評価指標とはどういう意味か。 3. 新規参入者にとって不利ではないか。

通告順位 及び質問者	要 旨	
4. 若山雅行	1	<p>来年度（令和5年度）の予算編成等について</p> <p>来年度（令和5年度）予算は、町長就任後初めての当初予算編成であり、公約等がどのように反映されていくのか町民は大いに期待を持っていることと思う。そこで本格的な作業はこれからであると思うが現時点での来年度（令和5年度）一般会計の予算編成の方向性や予算編成に対する町長の考え方等について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 予算編成に向け歳入・歳出の動向等についてどのように考えているか。例年通りなのか、何か編成方針を変えるような考え等はあるか。 2. 何か目玉となる事業等について検討されているか。 3. 次の事業の予算化等について検討しているかあるいは検討する予定はあるか。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「地域公共交通」に関して、実際にデマンドバス等を走らせる「実証実験」に関する予算 (2) 七飯町福祉灯油等の助成に関する条例（平成25年9月20日 条例第21号）に定める「福祉灯油等」の助成額の増額 (3) 図書館の新規建設に向けた準備費用等の予算 (4) 「給食費」扶助枠等の拡大及び「給食費」値上げについて (5) 「ゼロカーボンシティ」を目指す取組に関するなんらかの予算 4. 歳入に関して「17款 寄附金 1項 寄附金 1目 総務費寄附金」のうちいわゆる「ふるさと納税」をどの程度見積もることを検討しているか。

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p>2 「町民の声を生かして創るまちづくり」について</p> <p>町長の立候補時からのキャッチフレーズである「町民の声を生かして創る七飯町」は、「令和4年度七飯町施政方針」の「第6 ともに歩むまち」の中で「町民と行政と議会が協力し合い、自ら考え、行動し、暮らしの声を生かした町民主体の協働のまちづくりが必要であります。地域懇談会（タウンミーティング）による『町民の声を生かして創る』まちづくりを進めるため、町政運営の参考あるいは町政に反映するためのご意見を拝聴し生かせるような場の設置を検討してまいります」（P22）という考えに集約されていると考えるが、この「地域懇談会（タウンミーティング）」等、町民の声を聴く政策等について伺いたい。</p> <p>1. 令和4年第4回七飯町議会臨時会の「町政動向報告」によれば10月6日及び19日に「七飯町タウンミーティング」が開催されている。この「地域懇談会（タウンミーティング）」について、これまでの開催状況はどうか。開催申込はどの程度寄せられているか。また、開催の方法（開催場所、テーマ、出席する職員、実施後の広報等）はどのように決められているのか。選定において偏り等をなくすためにどのように工夫しているか。</p> <p>2. 「地域懇談会（タウンミーティング）」は、前町長の「平成31年度七飯町施政方針」の「第6 ともに歩むまち」に「引き続き、出前町長室を実施し、町民の皆様の見解などを真摯に受け止め、町民の視点で行政を執行してまいります」（P20）、「令和2年度七飯町施政方針」の「第6 ともに歩むまち」には「このことから出前町長室を実施し、町民の皆様の見解などを真摯に受け止め、町民の皆様とともに行政を進めてまいります」（P19）や「令和3年度七飯町施政方針」の「第6 ともに歩むまち」にも「このことから出前町長室を引き</p>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p>続き実施すべきとかがえませんが、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明なことから、感染状況を見極めながら実施してまいります」(P19)とあった「出前町長室」とはどこか違うのか。</p> <p>3. 「地域懇談会(タウンミーティング)」は、「新型コロナウイルス感染症の収束の状況を見極めながら」とあり、新型コロナウイルス感染症に留意しつつ開催されるものと承知しているが、今後どのような頻度等で実施していく予定か。議員の参加は検討できないか。また、町民の声に偏りをなくすためにどのように考えているか。</p> <p>4. 今年の日新の7月27日付「読者の声」欄に七飯町内の主婦の方から「水道事業民営化に懸念」とのタイトルで「使用水量が普段より多く表示された時に、町の水道課がすぐに漏水調査をしてくれ、素早い適切な対応に頭が下がる」と感謝の声が寄せられた記事が掲載されていた。同じように「広報ななえ」に読者(町民)の声欄等を設けることや、以前実施していた「目安箱制度」の問題点を改善の上で復活することや、最近の技術であるSNS等を最大限活用すること等、「町民の声」を聴く手段として「地域懇談会(タウンミーティング)」以外考えていないのか。</p>

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p>3 新型コロナウイルスワクチン接種事業について</p> <p>NHKのdボタンのデータ情報「新型コロナ道南のワクチン情報」を時々確認している。週単位で情報が更新されているが他の自治体の情報と比べて七飯町の情報量が見劣りするような印象を受けている。ついては、この「新型コロナ道南のワクチン情報」を含め新型コロナウイルスワクチン接種について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルスワクチン接種も5回目の接種や小児への接種が開始され、開始当初より管理面で複雑になっているが、接種事業は順調に進んでいるか。 2. ワクチン接種の予約電話が混み合っつながりづらいとの話をいまでも聞くが改善されているのか。以前は、翌週の予約のみであったが予約の仕方に工夫・変更等があったのか。 3. NHKの「新型コロナ道南のワクチン情報」の七飯町の情報には「オミクロン株対応ワクチン」のことや「4歳以下の小児」に関する情報が入っていないがこれは情報過多による混乱を避けているのか。公共の電波をもっと活用して情報発信を行なったらどうか。少なくとも広報ななえに記載している情報は載せたらどうか。 4. NHKの「新型コロナ道南のワクチン情報」の七飯町の接種人数や接種率情報が訂正されていることがあるが、接種人数の把握は個別接種を実施している町内各医療機関との連携は問題ないのか。各医療機関の負担等になっているようなことはないか。 5. 新型コロナウイルス感染症対策としては、やはりワクチン接種が極めて重要であることが明らかになったと思うが、ワクチンの接種率を上げる対策を何か考えていないのか。 6. 10月から開始された「オミクロン株対応ワクチン接種」はどの程度進んでいるのか。

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p>4 「道の駅エリア」の借地について</p> <p>「道の駅エリア」の借地については、平成30年3月の「道の駅 なないろななえ」開業当初から前町長は、借地契約を出来るだけ早く解消したい旨を述べていた。また、令和2年度決算審査特別委員会の前町長への総括質疑において「道の駅に関する土地貸借については、令和19年3月31日までの期間として契約を締結しているところである。土地購入に向けた考えに変わりはなく、道の駅開業以来7回にわたり相手方と面会しているが、その内容については、今後の交渉に支障をきたす恐れがあるので、差し控えさせていただきたい。」との答弁があった。そこでこの前町長の宿題でもある「道の駅エリア」借地問題について町長の考えを伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 借地契約の内容、契約日（含む変更契約日）、契約期間、地権者の数、借地面積（筆数）、道の駅エリア全体の割合、借地料等道の駅エリアの借地契約の現在の状況はどうなっているか。そもそも開業前に用地の購入ができなかったのは町の交渉ミス等ではないのか。 2. 七飯町の他の事業で借地契約により実施しているものがあるのか。あるとすればどこか。 3. 財政的な支出金額について、当初に土地を購入した場合、借地でスタートし、途中で購入した場合、借地契約終了後（20年後）に土地購入した場合、どの程度の違いが想定されるか。 4. 「道の駅 なないろななえ」関連の借入金返済に対して交付金算定等優遇 措置等はどうなっているか。 また、借地料の支払に交付金算定等の措置はあるのか。 5. 売却条件の問題等でなく、地権者が売却に応じてくれないというのであれば、町としても如何ともしがたく、土地を購入しないで借地のままで事業を進めることに方針転換し、その方針転換について町民に説明をしてはどうか。

通 告 順 位 及 び 質 問 者	要 旨
	<p>5 「令和4年度七飯町教育行政方針」について</p> <p>「令和4年度七飯町教育行政方針」（以下単に「方針」という）により示された各種施策の進捗状況や成果等について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「方針」の「Ⅲ 令和4年度の主要施策」「第3 学校教育の充実」「(1) 学校経営の充実」に「時間外在校等時間を公表します」(P3)とあったが、公表により教職員の勤務実態について理解を深めてもらったのか。 2. 「方針」の「Ⅲ 令和4年度の主要施策」「第3 学校教育の充実」「(8) 環境教育の充実」に「七飯町は、ラムサール条約登録湿地のある大沼国定公園や赤松街道など豊かな自然環境に恵まれていることから、それぞれの地域の特性等を踏まえた環境教育の充実を図ります」(P6)とあったが、各学校の具体的なテーマや実践はどのようなものか。 3. 「方針」の「Ⅲ 令和4年度の主要施策」「第3 学校教育の充実」「(10) 防災・安全対策の充実」に「昨年度の通学路点検により対策が必要とされた個所の注意喚起看板の設置を進めます」(P6～7)とあったが、設置され注意喚起は進んでいるのか。 4. 「方針」の「Ⅲ 令和4年度の主要施策」「第4 生涯学習の推進」「(1) 生涯学習」に「また、図書館については、第5次七飯町総合計画に基づき、施設設備について検討を進めてまいります」(P10)とあったが、検討の状況はどうなっているか。 5. 「方針」の「Ⅲ 令和4年度の主要施策」「第4 生涯学習の推進」「(4) 文化・芸術の振興」に「本年度は劇団四季による『こころの劇場』鑑賞会をリモートにより小学校高学年を対象に開催します」(P11)とあったが、実施の状況及び反応等はどうであったか。

通告順位 及び質問者	要 旨	
5. 江口勝幸	1	<p>七飯町町有バスあかまつについて</p> <p>いま七飯町で使用されている町有バスあかまつは、多くの町民の皆様に、ご利用されており、町内にある各団体等の方々に地域のコミュニケーションが取れるうえ活動の場が広がるといったメリットがあります。</p> <p>しかし、一部の歩行困難な方や身体に障がいを持った方には、介助があったとしても乗り降りが困難で、バスを利用する事が難しい現状にあることを踏まえて次の2点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町内でのイベントや旅行の際、歩行が困難な方や車いすを利用されている方への対応措置はどうしているのか。 2. 昇降機を設置した町有バスを導入する計画はあるのか。